

笑顔がそろそろ二十歳の門出

「令和7年二十歳の集い」



1月4日、令和7年「二十歳の集い」が町文化ホールで110人を対象に開催され、晴れ着姿の93人が参加しました。

式典では川添健町長が「笑顔とスピードで対応できる社会人になることを心に刻み、世界に羽ばたく人材となるよう願っている。町には、皆さんの若いエネルギーや斬新なアイデアなどが必要。できれば帰ってきて、まちを盛り上げてほしい」と式辞を述べ、多くの人から祝福と激励の言葉が贈られました。

二十歳を代表して運営委員長の小川純聖さん（川内）が「闘病生活の経験で、普通に生きることの幸せと人とのつながりの大切さを学んだ。笑顔で二十歳の集いを迎えることができたのは、成長を温かく見守ってくれた家族や先生、地域の皆さん、共に歩んだ仲間のおかげ。感謝の気持ちと長島町で生まれ育った誇り、成人としての決意を心に刻みこれからの人生を全力で歩んでいく」と力強く誓いの言葉を述べました。

式典終了後のお祝い行事では、和太鼓の演奏や各中学校の思い出のアルバムが上映され希望にあふれた二十歳の門出を祝いました。



長島中、平尾中の卒業生



誓いの言葉を述べる小川さん



鷹巣中、川床中、獅子島中の卒業生



獅子舞に嗺まれて縁起を担ぐ